

☑ 知っておかなきゃ!
.....
研究公正のキホン
.....

テーマ

7

【心理学・教育学系】

“オーサーシップについて”

論文への 貢献と著者資格

point

・役割分担を明確にしよう

・著者の順番にも合意をとろう

人文・社会科学分野では、ひとりで論文執筆を行ったり、単著論文が共著よりも高く評価される研究領域もあります。

しかし、人文・社会学分野の論文においても共著論文は増加してきています。特に人文・社会科学の研究者を対象にした調査*では、かつては、単著論文と数人による共著論文が同じくらいでしたが、現在では共著論文が6割を占めていることが示されています。

今後、人文・社会科学分野でも共著論文が増えていくことが予想されるため、オーサーシップについて、一度、考えてみてください。

[出典]

* Macfarlane, B., Devine, E., Drake, T., Gilbert, A., Robinson, M., & White, I. (2017). Co-authorship in Humanities and the Social Sciences: A global view. Taylor & Francis Group.
<https://research-information.bris.ac.uk/en/publications/co-authorship-in-humanities-and-the-social-sciences-a-global-view>
(参照 2024-9-1).

詳しくはウラ面へ→

論文への貢献と著者資格

【心理学・教育学系】“オーサーシップについて”

【事例*】教育学分野の論文において研究不正行為が疑われ、調査が行われた結果、改ざんおよび盗用が認定されました。本事案では、調査対象となった論文において、実験データを過去の論文で使用したデータに変更したこと、他の研究者の文章や図表を適切な表示なく流用したことから、特定不正行為である「改ざん」および「盗用」が行われたと判断されました。

さらに、他者を当人の承諾なしに著者に加えたこと、共著者の承諾なしに論文を投稿したこと、自身の既発表または投稿中の論文と本質的に同じ内容の原稿を新たなオリジナル論文として投稿したことが確認され、不適切なオーサーシップや二重投稿が複数の論文において行われていることが明らかとなりました。なお、共著者は本事案に関して一切関与していないことが確認されています。

本事案では、論文作成や投稿時における共著者確認をはじめとする共著者間での適切なコミュニケーションや、オーサーシップの重要性を確認する必要が示されています。

出典

* 研究活動上の不正行為(改ざん、盗用)の認定について(2017-07)、文部科学省「文部科学省の予算の配分又は措置により行われる研究活動において不正行為が認定された事案(一覧)」に掲載の事案より。https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1404083.htm (参照2024-9-1)

■ 米国心理学会 (American Psychological Association (APA)) の APA Publication Manual 7th edition*、および、APA Publishing Policies**に示されている著者資格のポイントは以下のとおりです。

- ・以下のいずれかで実質的な貢献をした：研究の構想・デザイン/データの取得・分析・解釈/研究で利用する新しいソフトウェアの開発/論文草稿の執筆ないし実質的な改訂
- ・論文の最終稿を承認した
- ・著者自身が行った貢献には、個人的に責任を負うこと
- ・論文の正確性や完全性を確保すること

APA Publishing Policies**には、論文の著者についての考え方が記されています。論文原稿を執筆した者だけでなく、研究に対して実質的に貢献した者が著者であるべきだと明記されています。著者に求められる実質的な科学的貢献については、テーマ3「著者貢献」「その論文、あなたの役割は？」***を参照して下さい。

■ 著者順の決め方は？ (APA Publication Manual 7th edition*)

著者の順番は、研究に対する相対的な貢献度を正確に反映するものです。一般的には、貢献順に表記されますが、分野やジャーナルによっては、主要な貢献者を最後に表示する慣習があります。著者の順番は職位などによって決められるべきではないとしています。

出典

- Publication manual of the American Psychological Association _7th ed*, #American Psychological Association*_2020,
https://doi.org/10.1037-0000165.000
(参照2024.9.1)

-- APA Publishing Policies#American Psychological Association _2023*8#update 2024*7,
https://www.apa.org-pubs-journals-resources-publishing/policies
(参照2024.9.1)

---「その論文、あなたの役割は?」:【共通】著者貢献」、研究分野の多様性を踏まえた研究公正規範の明確化と共有(2022)
https://doi.org/10.1037-0000165.000

✓ オーサーシップから見る共同研究

APAは決定するためのポイントとして、誰を著者とするかは、研究プロジェクトの開始の早い段階から議論を始めるべきとしています*。初期に決めた著者とその順番は、実際の研究への貢献を反映するように、進捗にあわせて変更することが可能です。当該マニュアルには、研究プロジェクト終了までに必要なタスク、役割分担、著者となる要件や著者順等、共同研究者間で決定・共有しておくべき事項が掲載されています。職位や立場(学生、教員等)ではなく、貢献度で著者順を決定することが大切です。最も貢献度の大きい人が筆頭著者になり、貢献度の順番に記載されることが一般的ですが、学問分野やジャーナルによって異なることもあります。まずは投稿規程を確認してみてください。

著者間の話し合いは、著者の決定や著者順の判断のみならず、共同研究の円滑な遂行を支えるものですので是非ご確認ください。オーサーシップ関連事項を含む1.25「論文執筆のための倫理チェックリスト」も参考になります。

出典

- Sec*of T21 T25#p*24* 26#Publication manual of the American Psychological Association _7th ed*, #American Psychological Association*_2020,*
https://doi.org/10.1037-0000165.000
(参照2024.9.1)

邦訳『APA論文作成マニュアル第3版』医学書院_2023,*

プロジェクト紹介

科学技術イノベーション政策のための
科学研究開発プログラム(第3期:令和3~6年度)

研究分野の多様性を踏まえた 研究公正規範の明確化と共有

近年問題となることの増えてきた二重投稿や不適切なオーサーシップ等について、問題への認識は分野を超えて共通しています。しかし具体的にどのような行為を二重投稿や不適切なオーサーシップとみなすかについては、研究分野によって考え方や対応が異なることがあります。本プロジェクトでは、研究分野の多様性を踏まえて、研究公正規範の明確化と共有を図る仕組みづくりを目指しています。

